

平成29年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

多くの皆様にお寄せいただいた寄付金を財源に、県では10事業を展開いたします。

この事業は、以下の5つの視点のいずれかに合致するとともに、基金を子どもたちに係る費用負担のために活用するように構築されています。

【5つの視点】

- ①被災・避難等により不便を強いられている子どもへの支援
- ②本県の子どもの将来につながる取り組み
- ③子どもたち及びその保護者が元気になる取り組み
- ④子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取り組み
- ⑤子どもたちの本県復興への参画

(単位:千円)

| No. | 事業名 | 概要 | 担当課 | 当初 | うち 基金充当額 |
|-----|-------------------------------|---|----------|---------|-------------|
| 1 | NPO強化を通じた若者定着・地域活性化事業 | 若者(高校生・大学生)が、県内のNPO法人において、インターンシップ活動を実施することにより、県内学生の県外流出の抑制や県外学生の還流促進を図る。また、NPO法人の自立的かつ継続的な活動への支援として、経営基盤やマネジメント能力を強化することにより、職員を雇用した長期的な活動の展開を図り、新しい雇用を創出する。さらに、復興に向け意欲のある企業、NPO法人等が連携・協力して、地域の課題解決に資する事業を検討する場を設置し、地域創生や復興に向けた協働事業の創出の促進を図る。 | 文化振興課 | 36,359 | 4,766 |
| 2 | 未来へチャレンジ! ふくしまスポーツ塾 | スポーツに対する意欲、関心を持つきっかけや運動が苦手な本格的なスポーツ体験等への参加に抵抗を抱く子どもたちに対し、スポーツ・レクリエーションやニュースポーツを通じて身体を動かす楽しさを伝える機会を提供する。また、本県で活躍するトップアスリート等からこれまでの経験を伝えてもらうことにより、子どもたちの夢や希望及び本件への誇りの醸成に繋げる。 | スポーツ課 | 9,049 | 181 |
| 3 | ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業 | 商店街の賑わい創出と子どもたちのふるさとへの愛着心(まちづくり参画への第一歩)を醸成するため、子どもたちが商店街やまちづくりに関して学びながら商店街の賑わいを取り戻すための取組を検討・実践する。 | 商業まちづくり課 | 19,969 | 19,512 |
| 4 | ジャーナリストスクール開催事業 | 子どもたちの豊かな感性を育み、将来の福島県を担う人材として育成するとともに、「ふくしまの今」を県内外へ広く発信するため、本県の復興、復旧の現状、スポーツや文化に関わる人・団体を直接取材し、新聞記者等から指導を受け新聞にまとめる。作成した新聞を子どもたち自ら発表するとともに、ジャーナリストの池上彰氏から講評してもらう。 | 生涯学習課 | 4,295 | 300 |
| 5 | ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト | 被災した子ども・親たちに、本とのふれあいを通じて心を癒し、親子のふれあいを深めるための読み聞かせ等を行うフェスティバルを開催する。また、高校生を対象にしたヒプリオバトル福島県大会を通して、広く県民に対し子どもの読書活動についての理解の促進のための普及活動・啓発活動を実施する。 | 社会教育課 | 7,935 | 3,680 |
| 6 | 未来へ羽ばたけ! イノベーション人材育成事業 | 早い段階から、理数に対する学習意欲や興味関心を高めるため、「理数フェスティバル事業」を実施し、コンテスト成績優秀者を対象として、地域企業や施設等との連携による「トップリーダー企業体験」を実施する。 | 義務教育課 | 31,984 | 5,032 |
| 7 | ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業 | 学校が教育活動の一環として実施する海外ホームステイ研修に参加する県内の県立・私立高校生及び海外より招へいする高校生に対して参加経費の一部を支援する。また、研修の成果を教育委員会主催の「英語スピーチコンテスト」や教育委員会のホームページ等を通じて県内外に広く発信する。 | 高校教育課 | 43,585 | 34,320 |
| 8 | 児童養護施設等入所児童自立支援事業 | 児童養護施設等に入所している児童が就職条件に適合するため、整備等を推進することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、児童の社会的自立の促進を図る。 | 児童家庭課 | 9,522 | 3,300 |
| 9 | 児童養護施設等退所者のための支援給付金事業 | 児童養護施設等を退所し、進学する者について、生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行う。 | 児童家庭課 | 12,187 | 12,187 |
| 10 | 「子どもを守る・子どもが守る」ICTツール適正使用推進事業 | 子どもの生活習慣の乱れや家庭学習への影響、ネットいじめなどが問題になっていることを受け、子どもたちがICT機器を節度やモラルをもって安全かつ適切に取り扱うことができるよう県内の高校生によるワークショップやサミット等を実施する。 | 高校教育課 | 37,507 | 3,751 |
| 合 計 | | | | 212,392 | 87,029 |